

科目名	作品研究Ⅰ								年度	2025
英語科目名	Work Study Ⅰ								学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義	
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種				
【科目の目的】										
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。										
【科目の概要】										
映画、テレビ、舞台など、多くの作品に触れ、様々な角度から研究する。 また、映画・テレビ・演劇などの業界人による講演を通じて知識を深める。										
【到達目標】										
表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力を持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対して本質的な向き合い方ができる役者になることを目標にする。										
【授業の注意点】										
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できることを評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	作品の要素を緻密に分析し、洞察深く理解している。批評が的確で新たな視点が示されている。	作品の多くの要素を深く掘り下げ、理解している。批評が具体的で充実している。	作品の主要な要素を適切に分析し、理解している。批評が一貫している。	作品の一部の要素を分析し、理解しているが、深さに欠ける。批評が抽象的で部分的である。	作品の分析が十分でなく、理解が不十分。批評が不明瞭で、根拠が乏しい。					
到達目標 B	テーマが明確で独自性があり、適切な焦点が定められている。	テーマが明確であり、適切な焦点が定められている。	テーマが明確だが、焦点が一部不明瞭である。	研究テーマが一部明確であるが、焦点がぼんやりしている。	テーマが明確でなく、焦点が定まっていない。					
到達目標 C	幅広い情報源から適切な情報を収集し、批評的な読解を行っている。	複数の情報源から適切な情報を収集し、批評的な読解を行っている。	情報源は一定だが、適切な情報を収集し、批評的な読解を行っている。	情報収集が限定的で、批評的な読解が一部不十分である。	情報収集が不十分であり、批評的な読解が行えていない。					
到達目標 D	作品の要素や表現に対する深い鑑賞と洞察があり、独自の批評が示されている。論理的で緻密な考察が行われている。	作品の要素や表現に対する充実した鑑賞があり、具体的な批評が行われている。考察が論理的で一貫している。	作品の要素や表現に対する適切な鑑賞があり、一定の批評が行われている。考察が適切である。	作品の要素や表現に対する基本的な鑑賞があり、一部の批評が行われているが、詳細や深さに欠ける。考察が抽象的である。	作品の要素や表現に対する鑑賞が不十分であり、批評が乏しい。考察が不明瞭である。					
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い					

【教科書】									
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		作品研究 I					年度	2025	
英語表記		Work Study I					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	舞台①	ビジネスモデル一つの作品が出来るまで外郭と製作の理解		映画産業の概観	映画産業の理解				
				映画製作の工程	映画製作工程の理解				
				企画段階から公開までの過程	映画ビジネスの理解				
2	邦画②	同一監督の映画と舞台の形式で表現を比較し映画と舞台の特徴を知る		同一監督の作品分析	映画の表現方法の理解				
				映像表現と舞台表現の比較	媒体としての映像、舞台の特徴の理解				
				ストーリーの比較	映像と舞台におけるプロット制作の理解				
3	邦画③	同一作品異形式の検証。出演者の関係。出演者起用についての理解		出演者の比較分析	キャスティングの理解				
				キャスティングの意図と効果	役者とキャラクターの関係性の理解				
				オーディション	オーディションの理解				
4	邦画④	同一俳優他作品の検証。違う作品で共通点、相違点を見出す		出演作品分析	俳優の演技分析				
				作品選択の分析	俳優のキャリアと作品選択の理解				
				作品の相関性	俳優と作品の相互作用の理解				
5	アニメ作品①	作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ		時代背景の分析	時代背景と作品の関連性の理解				
				出演声優の分析	声優の演技分析				
				キャラクターの表現	キャラクター表現の理解				
6	アニメ作品②	作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ		時代背景の分析	時代背景と作品の関連性の理解				
				出演声優の分析	声優の演技分析				
				キャラクターの表現	キャラクター表現の理解				

7	アニメ作品③	作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ		時代背景の分析	時代背景と作品の関連性の理解		
				出演声優の分析	声優の演技分析		
				キャラクターの表現	キャラクター表現の理解		
8	アニメ作品④	作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ		時代背景の分析	時代背景と作品の関連性を理解		
				出演声優の分析	声優の演技分析		
				キャラクターの表現	キャラクター表現の理解		
9	洋画①	無声映画、喜劇の鑑賞。音のない映画の表現手法を学ぶ		無声映画の歴史と特徴	無声映画の理解		
				映像表現の深堀り	映像表現の理解		
				喜劇映画の構造	喜劇映画の構造を理解		
10	洋画②	1950年代～2010年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る		各年代の社会背景	時代と映画の関連性の理解		
				映画ジャンル	映画ジャンルとスタイルの変遷の理解		
				技術革新と映画表現	映画技術と表現の理解		
11	洋画③	1950年代～2010年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る		各年代の社会背景	時代と映画の関連性の理解		
				映画ジャンル	映画ジャンルとスタイルの変遷の理解		
				技術革新と映画表現	映画技術と表現の理解		
12	洋画④	1950年代～2010年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る		各年代の社会背景	時代と映画の関連性の理解		
				映画ジャンル	映画ジャンルとスタイルの変遷の理解		
				技術革新と映画表現	映画技術と表現の理解		
13	戦争映画①	あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る		戦争映画の歴史	戦争映画の基礎知識		
				戦争映画における表現技法	戦争映画のテーマと表現		
				戦争映画と社会との関わり	戦争映画が社会に与える影響を理解		
14	戦争映画②	あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る		戦争映画の歴史	戦争映画の基礎知識		
				戦争映画における表現技法	戦争映画のテーマと表現		
				戦争映画と社会との関わり	戦争映画が社会に与える影響を理解		
15	戦争映画③	あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知		戦争映画の歴史	戦争映画の基礎知識		
				戦争映画における表現技法	戦争映画のテーマと表現		

		識を得る		戦争映画と社会との関わり	戦争映画が社会に与える影響を理解		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							